

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2000-511386(P2000-511386A)

【公表日】平成12年8月29日(2000.8.29)

【出願番号】特願平9-541844

【国際特許分類第7版】

H 0 2 G 15/013

H 0 2 G 3/04

H 0 2 G 15/10

【F I】

H 0 2 G 15/013 A

H 0 2 G 3/04 J

H 0 2 G 15/10

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月27日(2004.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 5月27日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成09年特許願第541844号

2. 補正をする者

氏名(名称) タイコ・エレクトロニクス・レイケム・
ナムローゼ・フェンノートシャップ

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙の通り

方 式 査 査



請 求 の 範 囲

1. (a) 空隙部を含む対象物を含んでいて、該対象物が好ましくはコンテナのハウジングの少なくとも一部を含み、上記コンテナが好ましくは導電体及び／又は電気接続器及び／又は電子デバイス及び／又は光ファイバ及び／又は光学デバイスを収容することができ、かつ

(b) (i) 好ましくはゲルのシール材と、(ii) 上記シール材が取り付けられるキャリアとを含むシール部材を含んでいて、上記キャリア及び／又は上記対象物が、1つ又はこれより多い取付手段を含み、これにより、少なくとも使用時には、上記シール材の少なくとも一部が上記空隙部内に保持されるようにして、上記キャリアが上記対象物に取り付けられている密封部材。

2. (a) 上記対象物が、使用時には、それぞれを通して少なくとも1つのケーブルが延びることができる開口部及び空隙部を含むハウジングの形態であり、

(b) 上記シール部材、上記キャリア及び／又は上記ハウジングが、1つ又はこれより多い取付手段を含み、これにより、少なくとも使用時には、上記シール材の少なくとも一部が上記空隙部内に保持されるようにして、上記シール部材が上記ハウジングに直接又は間接的に取り付けられているケーブルクロージャの一部を形成している、請求項1に記載の密封部材。

3. 上記シール部材が、上記取付手段により上記ハウジングに直接取り付けられている上記キャリアによって上記ハウジングに取り付けられている、請求項2に記載の密封部材。

4. 上記取付手段が、互いにかみ合う部分、好ましくはスナップ係合部を含んでいる、請求項1～3のいずれか1つに記載の密封部材。

5. 上記シール部材が、これを単に上記部分が互いにかみ合うまで上記空隙部内に押し込むことにより、上記対象物又はハウジングに取り付けられることができる、請求項4に記載の密封部材。

6. 上記シール部材が、該シール部材が取り付けられる上記対象物又はハウジングに対して移動することができる、請求項1～5のいずれか1つに記載の密封部材。

7. さらに少なくとも1つの弾性部材を含んでいて、該弾性部材が、少なくとも使用時には上記空隙部内に収容され、かつ使用時には上記シール部材が上記対象物又はハウジングに対して少なくとも1つの方向に移動することにより圧縮される、請求項6に記載の密封部材。
8. コンテナを含んでいて、上記対象物が上記コンテナのハウジングの少なくとも一部を含み、上記ハウジングが使用時には合体されることができ、少なくとも2つのハウジング部品、好ましくは2つの半割シエルを含み、ここにおいて上記シール部材が上記ハウジングに対して自動的に移動させられ、これにより上記の少なくとも1つの弾性部材を圧縮するとともに、その弾性により各弾性部材が上記シール材に圧縮力を加えるようになっている、請求項7に記載の密封部材。
9. 使用時には、上記各弾性部材が、上記空隙部を通ってケーブルが延びる方向に対して、実質的に横切る方向、好ましくは実質的に垂直な方向に圧縮される、請求項8に記載の密封部材。
10. 上記各弾性部材が、使用時には、上記シール部材の1つと上記ハウジング部品の1つとの間で、上記各ケーブルから横向きに離間して配置される、請求項9に記載の密封部材。
11. 上記各弾性部材が、少なくとも1つのばね、好ましくは少なくとも1つの板ばね及び／又は螺旋状ばねを含み、又は、少なくとも部分的には、少なくとも1つの弾性的な高分子材料、好ましくはエラストマー、より好ましくは天然又は合成のゴム、とくに好ましくは高分子発泡体材料で形成されている、請求項7～10のいずれか1つに記載の密封部材。
12. 上記ハウジング部品が、使用時に合体させられて、実質的にケーブル継手を閉じ込める、請求項8～11のいずれか1つに記載の密封部材。
13. さらに1つ又はこれより多い細長いシール部材を含んでいて、該シール部材は使用時には、上記ハウジング部品の逆方向を向く端面間をシールし、かつ上記空隙部内で上記シール材ともシール接触する、請求項8～12のいずれか1つに記載の密封部材。
14. 請求項1～13のいずれか1つに記載の密封部材に用いられるシール部材であって、

(a) シール材と、

(b) 上記シール材が取り付けられるキャリアとを含んでいて、

上記キャリアが、該シール部材を対象物に取り付けるようになっている1つ又はこれより多い取付手段を含む、条片、テープ又はブロックの形態をなす、該シール部材の裏材を含んでいるシール部材。